

1.4 校務支援システムの導入で子どもも・保護者も・先生も満足(札幌市立幌西小学校)

札幌市教育委員会は、全市統一の校務支援システムの導入により、業務効率化と教育の質の向上を目指しています。校務支援システムの導入にあたっては、2012年9月よりパイロット校33校にて導入を開始し、2013年4月より全校で導入が開始されています。

このパイロット校に選定された、札幌市立幌西小学校の校務支援システムの活用内容をお聞きいたしました。

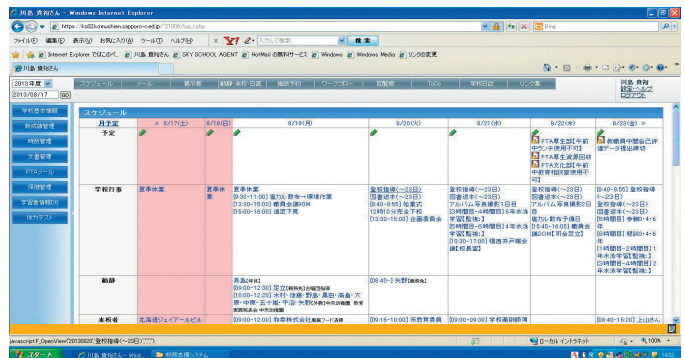
同校は札幌市中央区の住宅地に位置し、文部科学省の「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」の委託を受けるなど、ICT活用が盛んな学校です。

【校務支援システム導入のコンセプト】

- ・効率的な校務執行により、子どもに向き合う時間をできるだけ多くしようとしています。
- ・子どもに向き合う時間が増えることで、子どもの満足感、保護者からの信頼が高まり、さらに学力の向上等につながることを願っています。校務支援システムの導入をきっかけに、今までの業務の中身や流れを見直し、校務全体の効率化を実現。結果的に、先生も満足・子どもも満足・保護者も満足になることを目指します。

職員室にご案内いただき、校務支援システムの活用内容をお伺いしました。

- ・全職員の机の上に校務パソコンが用意され、毎日の業務に欠かせない道具として活用されています。
- ・職員室の真ん中に、スクリーンが用意され、全体での情報共有が必要な時にはプロジェクタで校務支援システムのスケジュール画面等がすぐに映せるようになっています。

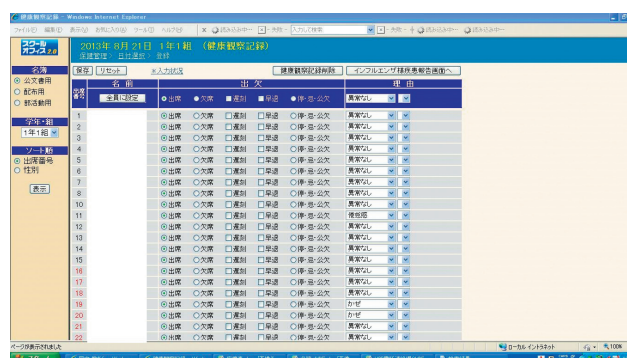


- ・毎日の職員朝会をやめ、校務支援システムのスケジュール機能と回覧板機能・掲示板機能を活用して毎朝の情報共有と交流を進めています。これによって担任は従来より20分早く教室に行けるようになりました。
- ・会議も大幅に減っています。職員会議90M（通常の職員会議）は年に4回しか行いません。朝会の代わりに行う職員会議20M（毎週金曜日放課後）も行っています。いずれも、校務用パソコンや校務支援システムを活用し、ペーパレスで効率的に進めています。

このように校務支援システムをフルに活用し、従来からの業務フローを見直すことで子どもに向き合う時間は確実に増えてきています。

【出欠席を毎日かんたん入力】

- 朝の出欠は、担任が紙面に記載したものを、養護教諭が保健室で校務支援システムの出席簿に入力しています。担任は放課後にその出席簿を確認し、遅刻・早退等確定した情報を入力しています。校務支援システムに入力することで、誤り無く、通知表や指導要録に自動で反映されます。



【PTAメールは9割が活用】

- 校務支援システムに入っているPTAメールへの保護者の登録が9割を超えました。従来の緊急連絡網は電話でのリレーでした。PTAメールを活用することで運動会や遠足の雨天時の対応などの連絡を効率化することができます。従来から保護者の強い要望があったメールでの連絡が実現でき大変好評です。
- PTAメールへの登録はQRコードを保護者に配布して、メールアドレスを登録していただきました。パソコンメールの利用を希望する場合や携帯電話がドメイン拒否の設定がされていて届かない場合など、対応が必要な場合もありました。

【校務支援システム導入の校内研修】

- 半年の間にICT支援員が3回訪問し、1～2時間程度の使用説明会を実施しました。実際に使い始めてからの学校訪問による説明会は大変役に立ちました。
- ヘルプデスクの対応も大変親切で、すぐ分からない内容も必ず折り返しで教えてもらえます。

【校務の情報化はマネジメントが重要】

- 校務支援システムの導入当初は、不慣れなことから一時的に苦しい時期がどの学校にもあります。それを乗り越えるためには、使い方に慣れた後にはこんなメリットがあるという見通しを示す必要があります。
- 新しいことに取り組むことは大変なことですが、手書きの指導要録では間違えた場合、修正液も使えないが、校務支援システムでは、最後まで見直して修正して完成となります。また通知表の所見もギリギリまで変更できます。一連の流れがわかったとき、はじめて、よかったと実感できるようになります。
- 校務支援システムへの警戒感は、半年以上かかりましたが無くなりました。1年程度の時間が先生方への浸透には必要だと思えます。

(札幌市立幌西小学校の事例に関するお問い合わせ先)

札幌市立幌西小学校

TEL：011-561-2201